

# 12月 バアバちゃんの子育て考 NO.9

吉田緑こども園  
理事長 長谷川智子



クリスマスの足音が近づいて来ました。小月駅やその周辺の町筋に早々のイルミネーションをつける工事が始まっています。子ども達にとっては心のはずむ時期ですね。「サンタさんから何を貰えるのかなあ」とか「ぼくはサンタさんに手紙を書いたよ」とか聞こえてきます。バアバちゃん時代にはなかった子どもの会話です。

しかし、それを不幸に感じなかったのは、なぜでしょう。考えてみると家族の中にぬくもりがあったからではないでしょうか。

父母、5人の子供、それにばあちゃんという大家族。そんな大家族の中のみんなが温かい眼差し、温かい手のぬくもりを感じ取り笑顔の出る家族だったように思います。兄弟げんかも派手にやりました。親に口答えもしました。しかし、自分で反省する機会を与えられ、自然にごめんなさいが言えて、笑顔を返してもらえた様な気がします。

「育児や教育のもっとも重要な課題は、その子どもが持って生まれた長所に気が付いてそれを持っている子にほれほれしてやる事だ」と相田みつをさんが言っておられます。

## 子育てワンポイントアドバイス

イタズラは好奇心の芽生えです。  
好奇心こそ知能の発達の基礎なのです。  
イタズラっ子こそ将来楽しみ。  
たまにはケンカも。

子育てはレシピ通りにはいきません。

優しくね。優しくね。優しいことは強いことよ

宮城まり子

※発表会見て下さって有難うございました。行事のひとつひとつに真剣に取り組む子ども達。人前に出るのが、不得意な子ども、それぞれですが、やさしい眼差しで応援ありがとうございました。あたたかい正月を！



ほけんニュースより

## 冬に流行する感染症

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって約3年がたち、子ども達を取り巻く感染症の様相はがらりと変わりました。マスク着用などの集団生活に多大な注意を払ってきたおかげでほかの感染症の流行も随分と少なくなりました。

しかし基本的な感染予防策を引き続き実施して下さい。それが新型コロナだけでなく他の感染症予防にもつながります。

## インフルエンザ

突然に高熱(38~40℃)が出て、3~4日間続きます。倦怠感や食欲不振、関節痛、筋肉痛などの全身症状や咽頭痛、鼻水、せきなどをともないます。通常1週間程度で症状は回復しますが、中には気管支炎、肺炎、中耳炎、熱性けいれん、急性脳症などの合併症を引き起こす場合があります。

インフルエンザに感染後の登園の目安は、幼児の場合、発症から5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してからです。それまでは登園停止となります。



## ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス感染症)

ノロウイルスに感染することで発症します。嘔吐と下痢です。脱水を合併することがあります。多くの場合は1~3日程度で治癒します。

感染力が強い為、手洗いの徹底などで予防を心掛けます。

登園の目安は嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事がとれるようになってからです。

## RSウイルス感染症

呼吸器感染症で、乳幼児期に初感染した場合の症状が重くなります。特に生後6ヶ月未満の乳児では重症な呼吸器症状が出て、入院が必要になる場合も少なくありません。

2歳以上で、2度目3度目に感染した場合では、徐々に症状が軽くなり、軽い咳や鼻汁程度しか見られません。

